

豊 剣 だ よ り

平成 27 年 3 月 15 日

豊橋市剣道連盟定期総会特別号

豊橋市剣道連盟

会長 鈴木利夫

剣道の稽古について

早春の候、会員の皆様方には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平成 26 年度の事業は、皆様方のご支援、ご協力をいただき無事に終了することができましたことを深く感謝申し上げます。

今年度は、例年の事業を充実するため、以下のことを実施しました。よりいっそうの剣道の普及を図るため、当剣道連盟のホームページをたちあげました。また、豊川市武道館で行われた第 1 回東三河市町対抗では、豊橋市が優勝し、見事栄冠を収めることができました。審判法講習会では、卓越した知識、技量をお持ちの畠山隆吉先生を講師として、初めてお迎えすることができました。

昇段審査では、剣道七段に佐原秀治、宮野祐一、松井忠博の 3 名、同六段には岡 克明、小野敏史、鈴木武洋の 3 名の各先生方が合格しました。まことにおめでとうございます。

さて、ユネスコ無形文化遺産の一つとして、日本文化である「和食」「和紙」が新たに世界遺産に登録されました。自然を尊ぶ日本人気質に基づいた習わしであると、四季の旬を巧みに表現した繊細な美意識を世界が認めたのです。

剣道も日本伝統文化の一つであり、「礼に始まり、礼に終わる。」とされています。これは日常生活の中で、相手の人格を尊重することで自分自身も智を学び、より良好な人間社会ができることを示しています。欧州の剣道愛好家は、礼節を重んじる剣道の魅力を求め、長距離を移動し、熱心に稽古に取り組んでいるそうです。

勝ちさえすれば良いという試合や、それを目的とした稽古を行っていたのでは、剣道の文化価値を理解できないと考えます。勝負である限り、試合に勝つことは確かに大切ですが、剣道にはそれ以上に大切なものがあると先人は教えています。

正しく構え、真正面から攻め、精魂込めて打ち掛かる基本に忠実な稽古を行い、そのうえで見事に打たれる。無心になり稽古を行うことは困難を極めますが、そこに心からの感謝や感動と反省が生まれます。先人は、剣道により技も心も両立して成長できる唯一の方法を遺訓として残してくれました。

私事で恐縮ですが、紙面をお借りし一言ごあいさつ申し上げます。この度一身上の理由により、会長職を退くことになりました。在職中は、会員皆様方より、温かいご支援ご協力をいただき、心からお礼申し上げます。